

## 令和4年度第2回上越市女性サポートセンター運営委員会次第

日時 令和4年12月26日(月)午後2時～

会場 高田城址公園オーレンプラザ会議室

開 会

1 あいさつ

2 議 題

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| (1) 令和4年度 事業途中経過報告について | 資料1   |
| (2) 令和5年度事業について        | 資料2～5 |
| (3) その他                |       |

3 その他

閉 会

議題(2)、(3)については、上越市審議会等の会議の公開に関する条例第7条第4号に該当するため、非公開とします。

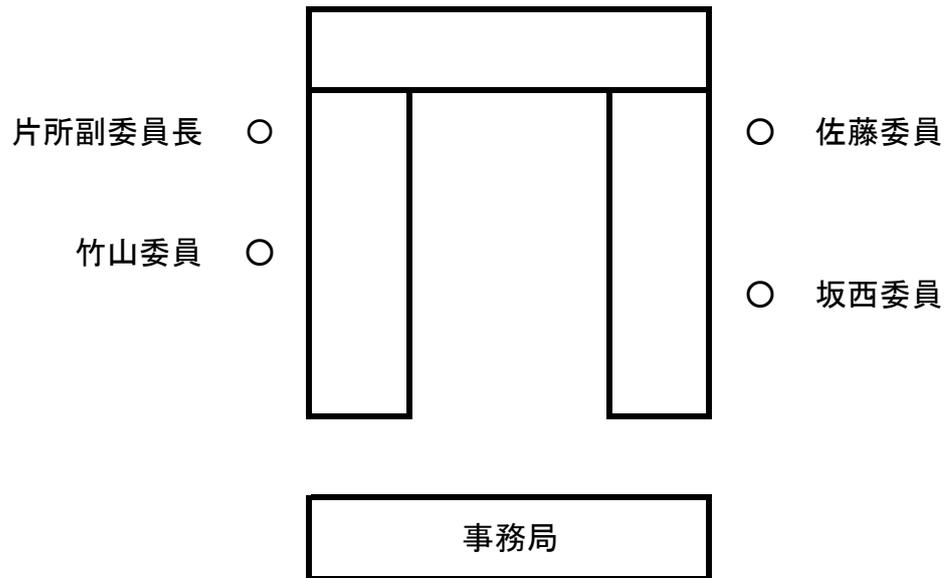
# 令和4年度第2回上越市女性サポートセンター運営委員会席次表

日時: 令和4年12月26日(月) 午後2時から

会場: 高田城址公園オーレンプラザ 会議室

齊京委員長

○



## 令和 4 年度 事業途中経過報告について

## ■ワーク・ライフ・バランス推進事業 セミナー「育児・介護休業法の改正について」

実施日		定員	参加者数	参加率
日時：令和 4 年 8 月 2 日(火) 午後 2 時～4 時 会場：ハイブリッド開催 (オーレンプラザ/オンライン会議システム)		30 人	20 人 (女性 11 人)	67%
目的	育児・介護休業法の改正に伴い、10 月からスタートする産後パパ育休制度及び育休の分割取得について学び、ワーク・ライフ・バランスについて考える機会とする。			
内容	<p>育児・介護休業法の改正内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の育児休業制度・介護休業制度の内容確認</li> <li>・出産・育児を取り巻く現状や課題</li> <li>・10 月施行の改正内容 産後パパ育休制度 育休の分割取得について</li> </ul> <p>【講師】 新潟働き方改革推進支援センター 島袋 美保子氏 氏</p>			
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、急遽オンライン開催へと変更した。急な開催方法の変更を踏まえ、オンライン参加が不可能な人のみ、会場での参加を認め、感染症対策に努めた。</li> <li>・上越商工会議所、上越雇用促進協議会及び上越市商工会連絡協議会の後援で実施。</li> <li>・新潟働き方改革推進支援センターから講師派遣協力のもと、開催。</li> <li>・参加者からは、「育休の現状や改正内容など図で説明があり、わかりやすかった」、「理解を深められた」といった声があった。</li> <li>・今後、取り上げてほしいテーマについては「法改正のタイミングで、改正内容に則ったセミナー」との意見が最も多く挙げられていた。</li> <li>・「働きやすい職場を作るために必要だと思うこと」という問いには、「子育て・介護などのための休暇等を取りやすい職場環境を作る」が最も多かったことから、今後の参考としていく。</li> </ul>			

■ワーク・ライフ・バランス推進事業

「働きやすい職場づくり～部下とのコミュニケーション方法～」

	実施日	定員	参加者数	参加率
日時：令和4年12月5日(月) 午後2時～4時00分 会場：オンライン開催（ZOOM使用）	30人	18人 (女性6人)	60%	
目的	部下のストレスを予防し軽減するために管理者が知っておくべきコミュニケーション方法を、最近の若手社員の特徴を踏まえながら学ぶことで、働きやすい職場環境を作り、心身ともにゆとりある働き方を目指す。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手社員の特徵</li> <li>・部下とのコミュニケーション</li> <li>・多様性のある組織の作り方</li> <li>・グループワーク</li> </ul> <p>【講師】 新潟労働衛生コンサルタント事務所所長 鈴木 美和 氏</p>			
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟産業保健総合支援センターとの共催、上越商工会議所、上越雇用促進協議会及び上越市商工会連絡協議会からの後援で実施。</li> <li>・新潟産業保健総合支援センターから講師を紹介いただき、開催。</li> <li>・参加者からは、「Z世代と呼ばれる若手社員の考え方と対応について、非常に参考になった」、「どんな接し方が、効果があるのかがわかりやすかった」といった声があった。</li> <li>・一方で、「ZOOMでのグループワークが不慣れで盛り上がれなかった」といった声もあり、今後の講習内容を検討する上での参考としていく。</li> <li>・アンケートにおいて、12社中8社から、5年以内に職場でストレスや心の病により休職または退職している職員がいると回答があった。また、「どのようなことにストレスを抱える職員が多いか」との問いについて、「職場の人間関係」と回答した人が一番多く、ついで「仕事の重責」「業務内容への不満」となった。</li> <li>・今後、取り上げてほしいテーマについては「ストレスケア」や「ハラスメント防止」のほか、「メンタルヘルス」や「仕事と育児の両立」などが挙げられた。</li> <li>・「働きやすい環境を作ることに必要だと思うこと」という問いには、「職場のワーク・ライフ・バランスに対する意識改革」との回答が一番多く、実施にあたっての課題として「世代間ギャップ」「コミュニケーションの取りやすい環境の整備」「仕事量の見直し」「最低限の人材確保」が挙げられた。</li> </ul>			

### ■就労支援講座「マザーズ再就職支援セミナー」

実施日		定員	参加者数	参加率
-		-	-	-
内容	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、中止</p> <p>（乳幼児のワクチン接種率が低く、感染拡大のおそれがあること、会場開催からオンライン開催に変更しても、乳幼児を抱えながらの参加は困難と考えることから、中止を判断。）</p>			

### ■女性の雇用に関する相談窓口の開設

目的	仕事と子育ての両立・働き方、再就職、キャリアアップなど、女性が働くこと、働き続けるための支援とする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業カウンセラーの資格を持った産業政策課の雇用政策専門員が相談対応を実施した。</li> <li>電話相談のほか、毎月1回事前予約制で開設した。</li> </ul>
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談実績（11月30日時点）：延べ人数7人（実人数7人）</li> <li>相談内容に応じて、適切な関係機関に繋ぐことができた。</li> <li>根本的な問題解決に繋がらなくとも、悩みを聞いてもらえただけで前向きな気持ちになれたとの感想があった。</li> </ul>

## ■ワーク・ライフ・バランス推進事業の紹介

目 的	市内企業のワーク・ライフ・バランス取組事例や、家庭と仕事の両立を支援する国・県・市の補助金等を紹介することで、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
内 容	・広報じょうえつ 11月号にて、ワーク・ライフ・バランス推進企業の紹介や、補助金・セミナーの周知
担当評価	・広報じょうえつを活用することにより、制度、取組事例、補助金、セミナー情報等を広く周知することができた。(76,600部発行)